

高知大学大学院総合人間自然科学研究科

博士課程応用自然科学専攻規則

令和4年3月10日

規則第72号

最終改正 令和5年3月3日規則第83号

(趣旨)

第1条 高知大学大学院総合人間自然科学研究科博士課程応用自然科学専攻（以下「本専攻」という。）に関する事項は、高知大学学則（以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(本専攻の目的)

第2条 本専攻は、基礎理学、応用理学及び理工学の実分野横断的な連携を通じて、自身の研究領域におけるイノベーション創出・社会実装に取り組むことができる高度な専門性、知識と技能をそなえた研究開発型人材や理工系高度専門職業人を養成する。また、分野横断研究を推進するとともに、自身の研究分野を高知県が抱える課題である防災・減災や自然・生態環境の保護、地域産業の拡充等にも対応できる健全な自然観を備えた人材の育成を行うことを目的とする。

(教育研究分野)

第3条 本専攻に、数理・物理・情報学分野、生物科学分野、化学生命理工学分野及び地球科学・防災工学分野の4つの教育研究分野（以下「分野」という。）を置く。

(教育方法)

第4条 本専攻の教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）等によって行う。

2 本専攻において、教育上有益と認めるときに限り、他の大学院又は本学以外の研究機関と連携して授業又は研究指導を行うことができる。

(教育方法の特例)

第5条 本専攻において、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

(指導教員)

第6条 本専攻の教育、研究及び学位論文指導のため、指導教員を置く。

- 2 指導教員は、本専攻を担当する教授、准教授、講師又は助教をもって充てる。
- 3 指導教員は、学生1人につき、主指導教員1人及び副指導教員2人以上とし、副指導教員のうち1人は、主指導教員の専門分野とは異なる専門分野の教員をもって充てる。
(履修科目及び単位数)

第7条 履修すべき授業科目は、指導教員の指導を受けて定めるものとし、その修得すべき単位数は28単位以上とする。

- 2 学生は、他の専攻の授業科目を履修することができる。
- 3 本専攻において教育上有益と認めるときは、学則第65条の規定に基づき、他の大学院又は外国の大学院の授業科目を履修することができる。
(授業科目及び単位数)

第8条 授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。

(単位の計算方法)

第8条の2 科目に対する単位数は、次の基準によって計算する。

- (1) 講義及び演習は15時間の授業をもって1単位とする。ただし、必要があるときは30時間の授業をもって1単位とすることができる。
- (2) 実験、実習及び実技は、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、必要があるときは45時間の授業をもって1単位とすることができる。
- (3) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する時間の授業をもって1単位とする。

(履修科目の届出)

第9条 学生は、あらかじめ、履修しようとする授業科目を所定の期間内に授業担当教員に届け出て承認を受けなければならない。

(単位の認定)

第10条 単位の認定は、授業担当教員が行う。

- 2 第7条第3項及び学則第72条第2項の規定により修得した単位を第7条第1項に規定する単位に算入する場合の認定は、本専攻会議（以下「専攻会議」という。）が行う。

(成績の評価)

第11条 履修科目の成績は、秀、優、良、可、不可の評語で表し、可以上を合格とする。

(学位論文の提出)

第12条 学位論文の提出については、本専攻において別に定める。

(雑則)

第13条 この規則に定めるもののほか、本専攻に関し必要な事項は、専攻会議が定める。

附 則

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則 (令和5年3月3日規則第83号)

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

別表第1(第8条関係)

科目区分	教育研究分野	授 業 科 目	単位数	
			必修	選択
専門科目		応用自然科学特論Ⅰ	2	
		応用自然科学特論Ⅱ	2	
	数理・物理・情報学分野	先端知能ソフトウェア特論		2
		先端高性能計算特論		2
		先端機械学習特論		2
		複素偏極多様体特論		2
		配置空間モデル特論		2
		量子物質相関物理学特論		2
		量子物質構造論特論		2
		量子電波物性学特論		2
		強相関電子系特論		2
		凝縮系物性化学特論		2
		生物科学分野	海洋堆積学特論	
	海底環境変遷学特論			2
	古生態学特論			2
	海洋分子生物学特論			2
	海洋動物生態学特論			2
	魚類系統分類学特論			2
	タンパク質科学特論			2
	分子生理学特論			2
	細胞形態機能特論			2
	細胞機能構築学特論			2
	化学生命理工学分野	生体分子科学特論		2
		機能物質化学特論		2
		水熱反応応用科学特論		2
		応用物質化学特論		2
		溶液化学特論		2
		水域環境動態化学特論		2
		水熱無機材料科学特論		2
		無機錯体構造科学特論		2
		分離科学特論		2
		トランスクリプトミクス特論		2
	生体高分子構造特論		2	
	地球科学・防災理工学分野	地球環境システム学特論		2
		古海洋生物学特論		2
		古地球磁場変遷学特論		2
構造地質学特論			2	
耐風構造特論			2	
変動気象学特論			2	
耐震工学特論			2	
共通科目		応用自然科学ゼミナールⅠ	2	
		応用自然科学ゼミナールⅡ	2	
		応用自然科学特別講究Ⅰ	2	
		応用自然科学特別講究Ⅱ	2	
		研究指導	応用自然科学特別研究	12

選択科目については、自身の属する教育研究分野開講科目2単位を含む4単位を修得すること。